

【水彩画クラブ27】卒業後6年目の活動 2018年5月

◇第116回活動:2018年5月8日(火) 午後1時から ヌエック207室

今日から療養されていた関矢さんが8ヶ月振りで活動に加わった。

そして、5月1日(火)の朝9時半に関矢さんと東松山市立図書館での予約抽選会に望み、関矢さんのクジ運で「第6回美術展」の日程が11月20日(火)~25日(日)となったことを皆に報告した。

同時に、昨日7日(月)に関矢さんは市の教育委員会を訪れて、美術展の後援申請手続きをしてきたことも報告した。

今日の活動は、堤防から下の河原や前面の雪原を描いていきます。

宿題で、右側から射す陽の光で白く見えるところにマスクングを施してきた。

1. 木々に接する堤防から川までを描いていく。

① 雪の影色:青い色をつくる。

鮮青色と濃紺色を混色し、水溶きしておく。

② 一番上の堤防から右側の川まで、先に平筆で水を塗ってから。同じ平筆でつくった空色をサーッと淡めに塗っていく。

③ 塗った色をドライヤーで十分に乾かしてから、陽があたって白く見える所に施した、マスクングに沿うようにダブルマスクングしていく。

ドライヤーで施したマスクングインクを乾かしておく。

a) ①の空色に少しウルトラマリンを加えて混色し、水溶きしておく。

b) a色に少し紫色を混色し、水溶きしておく。

⑤ 一番上の堤防と2段目の堤防境目に沿って水を塗ってから、小筆に少し濃い目の影色を取り、課題写真を見ながら濃く見えるところに線を引くようにおき、水筆で上へぼかしていく。

2段目の3段目の境目にも同じ要領で濃い影色をおいていき、直ぐに水筆で上にぼかしていく。

⑥ 塗った影色をドライヤーで十分に乾かしてから。平筆で水を塗ってから④のa色を筆に取り、川岸から上の堤防、川原全体をサーッと描いていく。

⑦ 塗った色をドライヤーで十分に乾かしてから、施したマスクングインクをキレイに剥し取る。

2. 左側のヤブと中程のヤブを描いていく。

① ヤブの色をつくる。

a) 焦げ茶色に朱色を少し混色し、少し紫色を混ぜて赤茶色をつくる。

b) 多目の焦げ茶色に暗青色を少し混色し、濃い目の焦げ茶色をつくり、水溶きしておく。

② 左側の雪が被ったヤブは、濃い目の焦げ茶色を4mmのライナー小筆に取り、茎や枯れ葉を描いて表現していく。

③ 中程のヤブを描いていく。

(1) ヤブの周りや上に被った雪などの影部分に、前項1のa色やb色を小筆に取り、課題写真を見ながら影部分を描いていく。

(2) ①のb色を4mmライナーで細めに課題写真を見ながら、左横に伸びる

ヤブ、上の堤防まで伸びるヤブ、曲がって垂れているヤブなどを、線を引くように描いていく。

(3) 小筆にa色を取り、課題写真を見ながら筆先で枯れ葉を描いていく。

塗った色をドライヤーで乾かしてから、塗った枯れ葉にマスクングしておく。

(4) マスクングインクを乾かしてから、ヤブの中の影になっている部分に、少し濃い目の空色を小筆で描くように塗っていく。

周囲を水筆でぼかしていく。

※ 今日の活動はここまでで終わった。

左側から右下への雪原は、次回までに各自自宅で仕上げてくること。

3. 次回(5月28日(月))の活動予定

次回から新たな課題を習作していく。

① 冒頭に配られた『塩沢湖畔の洋館-2』(B4判2枚)を張り合わせて手本台とし、水張りしたF8ウォーターフォード水彩紙にデッサンする。

洋館をデッサンする時の注意

a) 水彩紙に16等分線を書く時は、洋館部分だけ細かな等分線を入れる。

b) 洋館を鉛筆で書くとき、遠近法を取り入れて屋根や軒先、建物線などを定規を使って線を引きましょう。

② 時會活動では洋館右側の木々を描いていくので、洋館の白いベランダに見える白い柵右側部分だけに支柱5本をスキ間を空けてマスクングし、1階の白い柱(3本)にもマスクングする。

◆第117回活動:2018年5月28日(月) 午後1時から ヌエック207室

11月20日(火)~25日(日)に開催予定の「第6回美術展」開催要項、6月に入ってから美松会会員に配布する予定。
各自が仕上げてきた『小畦川の冬景色』を黒板に並べ、内ちゃん先生の画評を聞いた。「雪の河原に出来ている影を上手く表現されています」との画評だった。

今日から新しい課題写真『塩沢湖畔の洋館-2』を描いていく。

始めに、今日使う絵の具「黄灰色」が配られた。

今日の活動は、マスキングを施してきた洋館の正面テラス前の木々を描いていく。

1. 陽が当たって白く見える木々の葉っぱにマスキングを施していく。2. 木々に色を塗っていく。

① 手前の白樺の木や右側の黄色い低い木では、チョンチョンと葉先に向かって葉を描くようにマスキングをしていく。

② 右側奥の木々では、筆先を3~4本に分けたマスキング用小筆でチョンチョンとランダムにチョンチョンとマスキングをしていく。

① 木々の色をつくる。

a) 黄色の葉色 鮮黄色を水溶きしておく。

b) 緑色の葉色 明るい緑色を水溶きしておく。

c) 暗い緑の葉色 c-1 明るい緑色にオレンジ色を少量混色して、濁った緑色をつくる。

c-2 明るい緑色に黄灰色を混ぜて濁った緑色をつくる。

② 洋館前の白樺の木、右端にある低い木、洋館前の黄色っぽい灌木、右端奥の木々間に見える黄色い部分、洋館際の針葉樹間に見える黄色い部分などに、a色を小筆に取り薄めに塗っていく。

③ 塗った色をドライヤーで十分に乾かしてから、緑色を塗る前に黄色に塗った部分に、葉っぱを枝先端に行く感じでマスキング筆先端でチョンチョンと葉っぱを描くように施していく。

右側奥の林間に見える黄色い葉群にも細かい葉っぱを描くようにマスキングしておく。

④ 中央の白樺の木に、bの緑色を小筆に取り、課題写真を見ながら緑の葉っぱを描くようにドライブラシ技法で描いておく。

⑤ 同じb色で岸際にある灌木や、草などを描いていく。

⑥ 右側林に見える緑色部分に、c-1の濁った緑色を小筆で擦るように色をおいていく。

⑦ 針葉樹の枝葉はC-2の濁った緑色で、擦るように葉の形に描いていく。

3. 空を塗っていく。

① 空の色をつくる。

a) 鮮青色に濃紺色を混色し、少し暗青色を混ぜて明るさを抑えた色を、淡目に水溶きしておく。

b) 水を含ませた平筆で空の部分に、サーッと平行に上から下に水を塗っていく。

余分な水分はティッシュでサーッと拭き取っておく。

c) つくった空の色を平筆に取り、上部から横にサーッと平行に塗っていき、下方へ繰り返して塗っていく。

※ 今日の活動はここまでで終了した。各自今日描いてきた洋館右側の木々や針葉樹を仕上げてくること。

4. 次回(6月10日(日))の活動予定

次回も『塩沢湖畔の洋館-2』を描いていきます。